

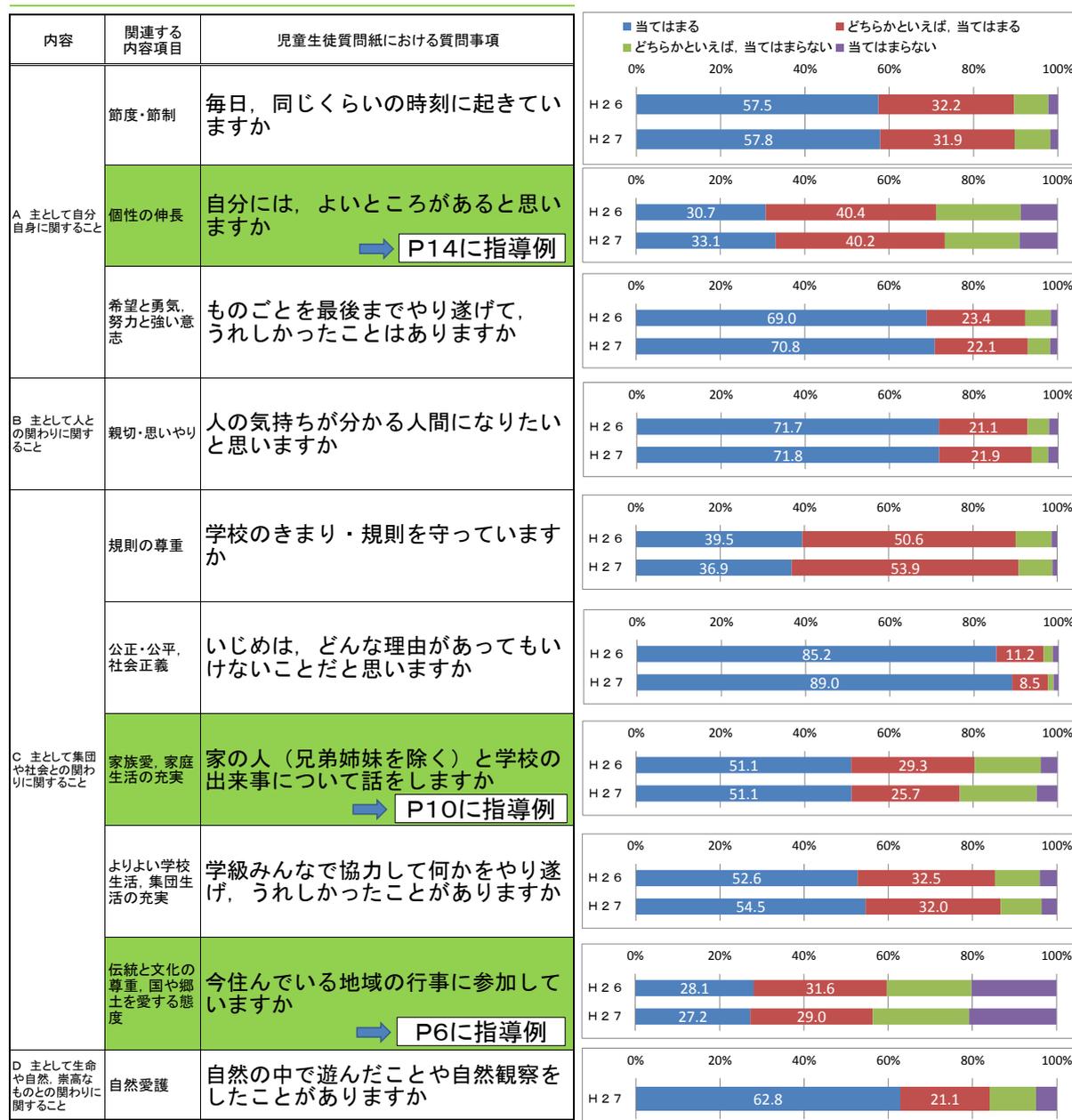
1. 本市の児童生徒の道徳性に関わる傾向

各学校においては、児童生徒や学校の実態などを考慮して道徳教育の目標を設定し、重点的な指導を工夫することが求められています。重点的な指導とは、各学年段階で重点化されている内容項目や学校として重点的に指導したい内容項目を選び、教育活動全体を通じた道徳教育において具体的な指導を行うことです。

重点的な指導を行う内容項目を決定する際には、学校や児童生徒の実態を把握することが大切です。

本指導資料では、本市の児童生徒の道徳性に関わる状況を把握するために、平成26年度及び平成27年度の全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙の調査結果を活用しています。

1 本市児童に関わる傾向



2 本市生徒に関わる傾向

内容	関連する内容項目	児童生徒質問紙における質問事項	
A 主として自分自身に関すること	節度・節制	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	
	向上心、個性の伸長	自分には、よいところがあると思いますか → P12に指導例	
	希望と勇気、努力と強い意志	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか	
B 主として人との関わりに関すること	親切・思いやり	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	
C 主として集団や社会との関わりに関すること	規則の尊重	学校のきまり・規則を守っていますか	
	公正・公平、社会正義	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思えますか → P20に指導例	
	家族愛、家庭生活の充実	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校の出来事について話をしますか → P16に指導例	
	よりよい学校生活、集団生活の充実	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか → P8に指導例	
	自然愛護	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	

平成26年度及び平成27年度に実施した全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査の結果から、本市児童生徒は「個性の伸長」，「家族愛，家庭生活の充実」，「伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度」*（郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度）」に関わる質問の3つについて肯定的に回答した割合が，他の内容項目に肯定的に回答した割合より低い傾向が見られることが分かります。

本質問紙調査の質問事項は全ての内容項目を網羅するものではありませんが本質問紙調査の結果を分析することは，児童生徒の実態を把握する上で有効な方法の1つであると考えます。本指導資料では，児童生徒が肯定的に回答した割合が低い3つの内容項目を指導例として取り上げました。

※（ ）は中学校